

別記様式

		担当課	やさしさ支援課
会議の名称	令和5年度第2回鴻巣市男女共同参画審議会		
開催日	令和6年2月16日(金)		
開催時間	午前10時00分 開会 ・ 午前11時05分 閉会		
開催場所	鴻巣市役所 本庁舎4階大会議室		
議長(委員長・会長)氏名	会長 吉田 全利		
出席者(委員)氏名(出席者数)	吉田全利(会長)、明里玲子(副会長)、土橋純、高橋琴、竹内茂雄、吉田大樹、横田まゆみ、小池真奈美、石田麻紀、渡邊美紀(10名)		
欠席者(委員)氏名(欠席者数)	手塚和子(1名)		
事務局職員職氏名	やさしさ支援課長 小川裕子 やさしさ支援課副課長 樋口則子 やさしさ支援課副主査 三ヶ島直美(3名)		
傍聴の可否(傍聴者数)	可(0名)		
会議の内容	(議題) 1 令和5年度版鴻巣市の男女共同参画推進状況(年次報告書)(案)について 2 その他		
	(決定事項など) 1 令和5年度版 鴻巣市の男女共同参画推進状況(年次報告書)について、事務局より説明。事前に提出された質問事項を紹介し、該当する部分について説明。 <<意見及び質疑応答>> ○ 年次報告書の作成は、各担当課の協力があるのだと思う。労力をかけて作っているわけだが、その成果は得られているのか。 → 大きな改善はなくても、定期的に報告書を作成し公表することにより、男女共同参画の意識付けをしていくことが推進につながっていくと考えています。 ○ 年次報告書をよりよくしていくために審議会でアップデートしていくが、その過程で作業量が増えていっている。作業を見直して、仕事の効率化を図ることができないか。 → ワークライフバランスは非常に重要なことかと思えます。どのような形をとるのがよいのか委員の皆さんからご意見をいただければと思います。 ○ 市役所における女性役付職員が少なすぎる。部長、副部長級が増加するよう真剣に取り組むべき。 → 昇格等については、成績主義に基づいて行われ、特定事業主行動計画の中に明記されています。職員課が女性活躍推進研修を実施し、意識改革や女性職員のキャリア形成支援に取り組んでいます。		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">会議の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ インセンティブがないと女性職員もやる気が出ないのではないか。役職が上がるにつれて女性の数が少なくなっている。 ・ 男女平等に扱って女性の負担を減らすことにより、女性にも長く勤めてもらって、優秀な方はどんどん登用する体制を作っていくことがよい。 ・ 採用時に男女比率が違くと、管理職になったときの男女比率も同様になってしまう。就職のところでいかにPRしていくかということが必要である。 ・ 男女の採用比率は去年の実績で見るからおかしな数値になってしまうので、長期的な視点で観察することでミスリードがなくなるのではないか。 ・ 国の省庁では育児休業の取得率が90%近い。このような数値を見ると、男女平等を実現していると感じる。女性職員の役職も大切だが、男性がもっと育児休業を取りやすい環境になったらいいなと思う。 ・ 男性の育児休業については、期間が短いというのも課題だと思う。上司からの意向確認などできることをどんどんやってほしい。 <p>2 令和6年1月21日に行われた「鴻巣市人権・男女共同のつどい」の報告。 3月広報と共に配布される「男女共同参画情報誌ほほえみ」の紹介。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度第2回鴻巣市男女共同参画審議会 次第 ・ 令和5年度版鴻巣市の男女共同参画推進状況(年次報告書)(案) ・ 令和5年度版鴻巣市の男女共同参画推進状況(年次報告書)(案)に関する質問事項 ・ 令和5年度鴻巣市小中学校PTA役員の男女比率調査について